

堀内議員 通告していたとおり4点について、質問させていただきます。まず、1点目災害時の物資調達協定及び物資保管場所について、このたびの熊本県を中心に発生した地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一刻も早い復旧、復興を願うとともに、こうした地震災害は、いつ四国地方を襲うとも限りません。牟岐町の震災への備えを一層充実させ、防災・減災につながる対策を進めていくべきであります。特に今回は避難所に物資が行き渡らないことが問題視されました。徳島県においてはアマゾンジャパンロジスティクス株式会社及びヤマト運輸株式会社と物資調達協定を結んでいますが、アマゾンジャパンの提供する「ほしい物リスト」などに対して、十分理解は進んでいるのか、また、届いた支援物資の保管場所は、どこを予定しているのか。続いて、市宇ヶ丘学園における保護者への連絡体制について、5月30日午前0時41分、徳島県全域の保育施設に対する爆破予告のメールが千葉県庁に届きました。県でも同日11時30分より危機管理連絡会議が開かれ関係部局において市町村や施設管理者と連携を図り、不審物の点検等の警戒に当たったようですが、保護者への連絡などはどのように行われたのか、また、こういう事態に備えたマニュアル等は作成されているのか。作成されているのであれば、保護者の方々への周知は十分な状態でしょうか。続いて、町へ寄付された船戸荘の今後の用途について、ご質問させていただきます。ロケーションは素晴らしいが建物の状態はどうか。用途が具体的に決まっていなければ、一般からアイデアを募り活用方法を模索してはどうか。最後にふるさと納税へ取り組みは十分か。ふるさとチョイスへ掲載されたことなどは大きな進歩ですが、未だに写真もなく、お礼の品も分かりにくい今後の展開はどうなっているのでしょうか。

枅富議長 福井町長。

福井町長 まず、災害時物資調達協定と物資保管場所についてですが、アマゾンジャパンの提供する「ほしい物リスト」については、災害時の物資調達の有効手

段のひとつであると考えています。また、県や国、あるいは、支援協定による物資提供等の公的支援の他に、避難所等における生活環境を向上させるためにも積極的に活用したいと考えています。大規模災害において、災害発生からの時間の経過に伴い、必要な物は変化していきますが、欲しい物リストは『必要な時に、必要な物を、必要なだけ』要請出来るということで、支援者側と受援者側間のミスマッチを無くす合理的なシステムだと思えます。また、指定避難所ごとに徳島県よりIDが振り分けられており、避難所ごとに欲しい物リストを登録することが可能であり、物資が避難所へ直接届けられるため、物資の仕分け等が不要なこと、さらに、災害時に利用している徳島県災害時情報共有システムとも連携しており、避難所ごとの欲しい物リストや、それに対する支援の進捗状況を把握でき、町の災害対策本部で、全ての避難所の状況把握が可能であることが、大きなメリットです。今後、町としましても、新しく多様な仕組みやシステム等を活用し、災害時に、被災者へ必要な物がスムーズに届けられるよう、受援体制、避難所の運営体制の整備に努めてまいりたいと考えています。なお、牟岐町の物資集積拠点については、地域防災計画において、町民体育館と町民センターを選定しています。つぎに、5月30日の保育所爆破予告を受け、市宇ヶ丘学園における保護者への連絡体制についてですが、これは、教育委員会及び担当課長からお答えいたします。つぎに、寄付された船戸荘の今後の使い道についてですが、現在の船戸荘は、築後、相当年数が経過している平屋部分は、改修が必要なため利用が困難であると判断していますが、比較的新しい2階建ての部分については、鉄骨造りであることから、直ぐにも利用可能であると考えています。今後の活用については、議員ご提案のようにアイデアを一般募集するのも一つの有効な方法ですが、現時点では、牟岐町活性化のため、牟岐町で滞在される、各種団体の活動スペースや交流の場としての活用方法を考えています。最後に、ふるさと納税への取り組みについてですが、これは、総務課長からお答えします。

枅富議長 木田住民福祉課長。

木田住民福祉課長 それでは、堀内議員のご質問にありました市宇ヶ丘学園における保護者への連絡体制についてお答えさせていただきます。保育園におきます保護者への連絡については、5月30日、午後4時30分以降に、保育園に残っている子供について、保護者に電話連絡をしまして、午後5時30分までの迎えを依頼しています。翌日の登園については、保護者の判断に任せる旨を伝え、すでに子供が帰っている家庭につきましても同様の連絡を電話でしています。また、こういう事態に備えたマニュアル等は作成されているのか、についてです

が、危機管理のマニュアルは策定されておりますが、今回の爆破予告メールに対する個別のマニュアルは想定をしていなかったことから、作成していませんでした。今後は、牟岐小学校、牟岐中学校と連携を図りながら協議をしまして、対応してまいりたいと思います。保育園については、以上です。

枅富議長 久米教育次長。

久米教育次長 只今、住民福祉課長から保育園の対応について説明があったところですが、私からは、学校、並びに市宇ヶ丘学園全体的な視点からお答えをさせていただきたいと思います。当日、小中学校におきましては、爆破予告情報を受けた後、子どもたちを安全な場所に避難させるなどの安全対策と教職員による不審物等の点検を、当日夕方、並びに31日早朝に実施したところです。牟岐署による巡回も2日間にわたって行われました。今回、予告翌日にあたる31日につきましては、平常授業としたため保護者への連絡は行っていません。通常の連絡体制につきましては、学校におきましては、学年ごとの電話連絡網と町 comi メールによる配信によりまして、一斉連絡等でケースに応じて対応しているところです。通常の連絡事項につきましては文書配布、警報発令時等緊急を要する場合につきましては、メールあるいは電話連絡で対応しています。危機管理対応マニュアルにつきましては、小中学校それぞれで策定されています。ただ、このマニュアルにつきましては、傷病等の事故、災害、不審者対応を主としたマニュアルでして、今回のような爆破予告に類する個別事象に対するマニュアルは作成していません。今回は、保育施設が標的とされましたが、牟岐町の場合は市宇ヶ丘学園として当然、連携して対応すべき事案であるべきところでしたが、今回につきましては子どもの安全確保を最優先した結果、関係機関間の連携や保護者への対応等に関して不十分ではなかったかといったことが課題として出されています。特にこうした、想定しがたい事態への対処は、情報の共有や統制された伝達体系のもとで、市宇ヶ丘学園として連携した適切な対応が求められる事態が今後も起こり得ることが考えられています。今回の対応を検証し、マニュアルの共通項目の設定や共有の在り方等も含めまして対応協議いたします。また、警報発令時等、非常時の対応については文書で保護者あてに周知されています。

枅富議長 宮内総務課長。

宮内総務課長 私からは堀内議員のふるさと納税への取り組みについてお答えさせていただきます。本町では、ふるさと納税の返礼品カタログの作成に向けて準備を進めています。現在、商工会、漁協、JA様をお願いして、返礼品の提案をお願いしているところです。具体的には7月末までに返礼品として活用できる商品の提案（商品名・商品の写真・金額・重量・サイズ）をお願いしていますので、なるべく早く返礼品のカタログを作成してホームページに掲載できればと考えています。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 爆破メールについて、後は、欲しいものリストなど、今までなかったような制作であったりとか、後は爆破メールとかいたずらのようなものが出てきますので、想定内のようなことができれば、また、どんどんマニュアル等を作ってくださいまして、特に欲しいものリストは画期的な仕組みだと思しますので、皆さんで、また、町民の方にも周知していただく必要があると思しますので、そちらの方も検討していただければと思います。全体的に防災に関しても市宇ヶ丘、ふるさと納税に寄付された方に対して、町民の方々、あるいは、保護者の方々と一緒に進めていくことだと思しますので、全体的に情報のオープンな情報と協議をしていただければと思いますので、よろしく願いします。